

第 19 期福井糖尿病療養指導担当者教育講習会 4 月講義施行ミニテスト

解答は解答用紙に記入してください。

以下の各文について、正しい文には○印、間違いのある文には×印を付けなさい。

- 1 糖質 1g は 4Kcal、蛋白質 1g は 4Kcal、脂質 1g は 9Kcal の熱量(エネルギー)を生じる
- 2 インスリンは、肝の糖輸送体である GLUT2 に対して直接作用することによってこれを活性化し、ブドウ糖の肝への取り込みを増加させる。
- 3 生体内で、血糖を降下させる作用のあるホルモンは、インスリンのみである。
- 4 糖尿病の成因によって、インスリン依存状態になるかどうかが決まってくる。
- 6 低出生体重児で肥満や糖尿病発症頻度が高くなるのは、彼らのもつ遺伝子配列の変化によるものである。
- 7 国民健康・栄養調査において、「糖尿病が強く疑われる人」は平成 9 年度以降増加しているが、「糖尿病の可能性を否定できない人」は平成 19 年度以降減少している。
- 8 75gOGTT は、事前の糖質摂取が少ない場合には検査結果が悪くなる。
- 8 ステロイド糖尿病の特徴は、朝の空腹時血糖が低く、夕食後の血糖が高く、血糖の上昇の割に尿糖は少ないことである。
- 9 “慢性膵炎による膵性糖尿病では、インスリン分泌が低下しても血糖が正常範囲である場合があり、また同じインスリン欠乏による 1 型などに比べ、ケトアシドーシスになりにくい。”